

国における再エネ関連委員会等開催状況（2025.8月分）

月日	内 容
8/6	<p>総合資源エネルギー調査会省エネルギー・新エネルギー分科会再生可能エネルギー大量導入・次世代電力ネットワーク小委員会洋上風力促進ワーキンググループ 交通政策審議会港湾分科会環境部会洋上風力促進小委員会 合同会議（第34回）</p> <p>出典：経済産業省ウェブサイト https://www.meti.go.jp/shingikai/enecho/denryoku_gas/saisei_kano/yojo_furyoku/034.html を基にして作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 公募占用指針改訂案について ● 洋上風力発電に係る電源投資を確実に完遂させるための更なる事業環境整備について
8/8	<p>第3回 洋上風力の産業競争力強化に向けた官民協議会</p> <p>出典：経済産業省ウェブサイト https://www.meti.go.jp/shingikai/energy_environment/yojo_furyoku/003.html を基にして作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 洋上風力産業ビジョン（第2次）について ● 政府・業界・関係団体からの説明 ● 意見交換
8/20	<p>【注意喚起】太陽電池発電設備における台風起因の電気事故への注意喚起</p> <p>出典：経済産業省ウェブサイト https://www.meti.go.jp/policy/safety_security/industrial_safety/oshirase/2025/08/250820_00001.html を基にして作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 太陽電池発電設備の台風被害、どう防ぐ？（NITE）※トピックスにポイントを記載 ● 事故発生時の連絡先一覧 ● 自然災害による再エネ発電設備の事故防止及び保安管理の徹底（METI/経済産業省）
8/26	<p>総合資源エネルギー調査会省エネルギー・新エネルギー分科会再生可能エネルギー大量導入・次世代電力ネットワーク小委員会洋上風力促進ワーキンググループ 交通政策審議会港湾分科会環境部会洋上風力促進小委員会 合同会議（第35回）</p> <p>出典：経済産業省ウェブサイト https://www.meti.go.jp/shingikai/enecho/denryoku_gas/saisei_kano/yojo_furyoku/035.html を基にして作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 洋上風力発電に係る電源投資を確実に完遂させるための更なる事業環境整備について ● 海外における洋上風力支援政策について
8/28	<p>第32回 総合資源エネルギー調査会 省エネルギー・新エネルギー分科会 新エネルギー小委員会 バイオマス持続可能性ワーキンググループ</p> <p>出典：経済産業省ウェブサイト https://www.meti.go.jp/shingikai/enecho/shoene_shinene/shin_energy/biomass_sus_wg/032.html を基にして作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 第三者認証スキームの追加等について ● ライフサイクル GHG 自主的取組のフォローアップについて
8/31	<p>『再生可能エネルギーの固定価格買取制度』に基づく再エネ出力制御指示に関する報告</p> <p>出典：東北電力 NW ウェブサイト https://setsuden.nw.tohoku-epco.co.jp/common/demand/seigyos_hiji_tounen.pdf を基にして作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 直近の情報：東北電力 NW の出力制御は東北エリアで、8月に1回の指示があり、実績として1回行われた。

※青文字部分を Ctrl キーを押しながらクリックするとリンクされます

再エネ等動向調査(R7.8) トピックス

【注意喚起】 太陽電池発電設備における台風起因の電気事故への注意喚起

● 太陽電池発電設備の台風被害、どう防ぐ？（独立行政法人製品評価技術基盤機構 国際評価技術本部）

【注意喚起】

近年の気候変動の影響で、より強い風、激しい雨を伴う「猛烈な台風」が発生しやすい状況が増加しております。

独立行政法人製品評価技術基盤機構(NITE)では、8月20日に地形別の台風事故事例や被害傾向、台風事故リスクを低減するための対応ポイントなどを紹介しております。

設置者の皆様におかれましては、NITEのプレス発表を参考に「台風による太陽電池パネルの安全対策、接近前の事前対策」などの措置を行っていただくようお願いいたします。

また、再エネ発電設備が損壊した場合、電気事業法の規定に基づく事故報告(電気事業法第106条)が必要となる場合があります。設置者の皆様は、被害の発生を知ってから24時間以内に所管の産業保安監督部へ報告してください。

設置者以外の皆様におかれましては、損壊した再エネ発電設備を見かけた場合は決して近寄らず、最寄りの産業保安監督部や経済産業省または設置者までお知らせいただきますようお願いいたします。

● 太陽電池発電設備の台風被害、どう防ぐ？ ～台風接近前や台風通過後の設備点検が重要～

太陽電池発電設備は屋外に設置されるため、強風や豪雨の影響を受けやすく、破損や水没による電気事故^{※1}のリスクが高まります。特に勢力の大きい台風では集中して被害が発生する傾向にありますが、規模の小さい台風でも事故が発生しており、いずれの場合も事前の備えが重要です。

NITEでは電気工作物^{※2}の事故情報データベースを用いて、自家用電気工作物^{※3}を対象に、太陽電池発電設備の台風被害について今回は地形に焦点を当てて分析しました。

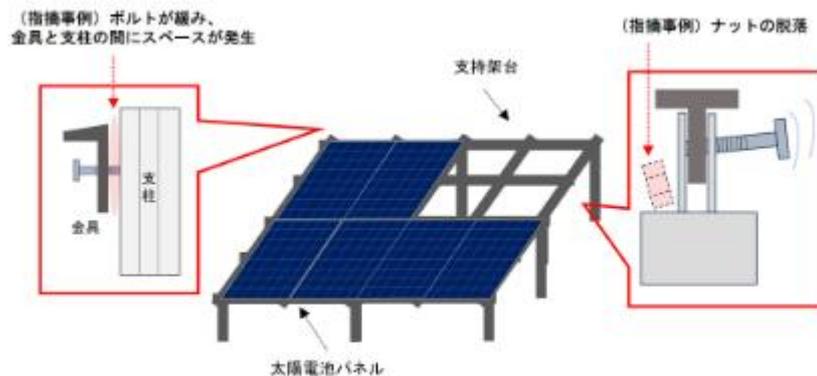
その結果、平地等の風通しの良い地形では太陽電池パネル飛散等の強風被害が発生、河川付近では河川氾濫によるパワーコンディショナ(以下、「PCS」という。)の水没等の大雨被害が発生する等、地形別に被害の傾向があることがわかりました。

しかしながら、NITEが実施した立入検査では、太陽電池パネルの固定金具の緩み等の台風により電気事故に至るリスクのある事例が報告されています。

台風による電気事故のリスクを低減するためには、台風接近前や台風通過後に設備の点検・確認等を行うことが重要であり、本文では様々な観点から対策ポイントを紹介しています。電気主任技術者等の管理者^{※4}や設置者の皆様には、継続的な安全対策の実施をお願いします。

地形別の被害傾向

地形	特徴	実際に発生した事故
・ 平地 ・ 谷間 ・ 丘陵地 ・ 海岸沿い ・ 崖の上	風通しが良く、強風の被害を受けやすい	太陽電池パネル等の電気工作物の破損・飛散
河川敷、中州などの河川付近	河川氾濫など、大雨による浸水が起きやすい	PCS等の電気工作物の浸水
山の斜面等の傾斜地	土砂崩れや地滑りが起きやすい	敷地外への土砂流出及びそれに伴う架台等の電気工作物の破損



太陽電池パネルの固定金具の緩み例

- ※1 感電または物損による死傷事故・破損事故・物損事故（電気工作物の破損等により第三者の物件に被害を与えた事故）・波及事故など。
- ※2 発電、蓄電、変電、送電、配電又は電気の使用のために設置する工作物のこと。
- ※3 電気工作物のうち、主に大規模マンション・ビル・オフィス・工場等、電気を多く使用する施設で用いられる、高圧で受電する設備や、一定以上の出力を持つ発電設備(電気事業で用いられるものを除く)。
- ※4 電気工作物の工事、維持又は運用に従事する者

◆発表資料

- ・ [報道発表資料【PDF】](#)
- ・ [台風事故リスクを低減するための対応ポイント](#)

出典：経済産業省ウェブサイト

https://www.meti.go.jp/policy/safety_security/industrial_safety/oshirase/2025/08/250820_00001.html を基にして作成